

戦国大名の登場

応仁の乱後、守護は在京をやめて自らの領地に戻った。幕府（将軍）は守護に対する統制力を失っていた。これは広く言って戦国時代の開始を意味する。幕府の権威を頼らずに実力で領地の確保・自治をおこなう者、すなわち戦国大名が各地で争う時代を迎えた。なお、戦国時代の特徴は応仁の乱以前の東国で既に見られた。

○戦国時代へ

●東国のひと足早い戦国時代

将軍と鎌倉公方の、鎌倉公方と関東管領の対立を契機に、
1438年に⁽¹⁾ _____、1440年に結城合戦^{ゆうき}が起きた。

⇒足利持氏の子足利成^{しげうじ}氏が鎌倉公方に就任した。

→成氏と上杉氏が対立し、1454年に⁽²⁾ _____が始まった。

⇒幕府が上杉氏を支援したため、成氏は幕府とも対立した。



⁽³⁾ _____は幕府の勢力に押されて下総国⁽⁴⁾ _____に逃れ、

⁽⁵⁾ _____と呼ばれた。

⇒対抗上、8代将軍の兄足利政知^{まさとも}が新たな鎌倉公方に任じられたが、

伊豆国⁽⁶⁾ _____にとどまり、⁽⁷⁾ _____と呼ばれた。

◇鎌倉は争いで焼け、また、反対勢力のせいで入れない状態



上杉氏も⁽⁸⁾ _____・⁽⁹⁾ _____に分裂して争い始めた。

⇒他の勢力も争いを始め、東国は西国よりも早く戦国時代へ突入した。

◇西国は15世紀末（応仁の乱の終結後）から戦国時代へ突入



図1 西から順に堀越・鎌倉・古河

○戦国大名

●戦国大名の登場

戦国時代には、既成の権力に頼らず、実力で成り上がる者が増えた。

→なかには自ら支配する領域分国^{ぶんこく}（領国）を作りあげ、

独自の支配をおこなう者も現れた。

⇒こうした者を⁽¹⁰⁾ _____と呼ぶ。

◇(10) …大半は守護・守護代・国人出身の者

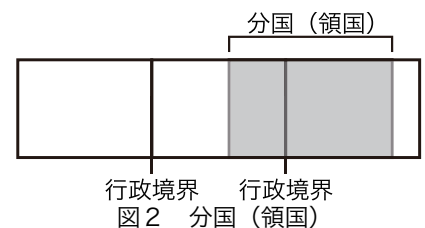


図2 分国（領国）

●戦国大名の先駆者

15世紀末、堀越公方足利政知が死に、子の茶々丸が地位を継いだ。

→しかし、茶々丸は家臣の支持を得られず、伊豆国が混乱した。

→混乱に乗じて⁽¹¹⁾ _____が堀越公方を滅ぼし、伊豆国を奪った。

⇒ついで⁽¹²⁾ _____に進出し、ここを拠点に相模国^{さがみ}をおさえた。

◇(11) …出自・行動ともに不明な点が多い人物

…鎌倉時代の北条氏と区別して、(11)の一族を後北条氏と呼称

…孫の北条氏康^{うじやす}とその子の代に、後北条氏は関東の大半を支配



図3 北条早雲

●戦国大名の割拠【出没年不問】

(13) _____ (出自：国人)
 [大内義隆は家臣の(14) _____ に国を奪われ、
 (14) は安芸の国人 (13) に奪われた。]
 ◇毛利氏は尼子氏と石見銀山をめぐる激突

(15) _____、後に(16) _____
 (出自：守護代)

朝倉孝景

今川義元 (出自：(17) _____)

北条早雲 (出自：不明)

斎藤道三 (18) _____ (出自：不明) (出自：守護代)

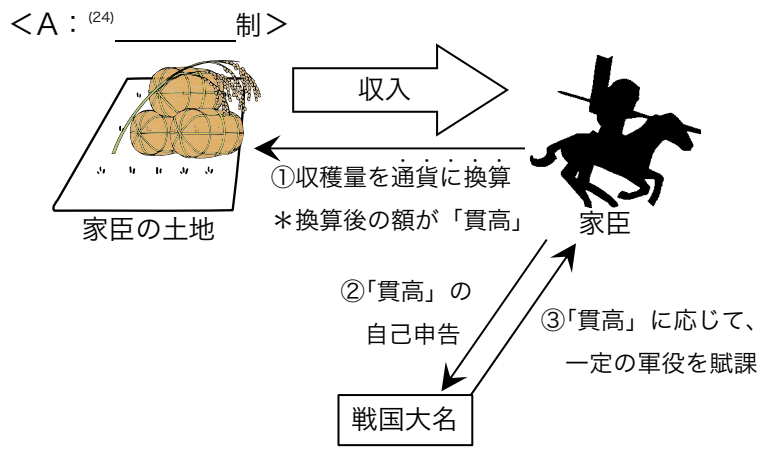
(19) _____ (出自：(20) _____)
 ◇信玄堤が有名

(21) _____
 [幕府の実権は、1493年の明応の政変で(22) _____ 氏に握られた後、
 (22) 氏の家臣(23) _____ に移り、さらに (23) の家臣 (21) へと移った。]
 ◇明応の政変… (22) 氏による将軍の廃位・擁立事件

●戦国大名の軍事制度

戦国大名は、国人・地侍を家臣に組み込んでいった。

⇒家臣たちを次のA・Bの制度で管理した。



◇家臣の収入は(26) _____ という自己申告制
 ⇒申告された土地面積・年貢量は検地帳に登録

